

# 令和3年度 全国学力・学習状況調査 結果

## 国語

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			篠崎第四小	東京都(公立)	全国(公立)	
全体			14	66	68	64.7
学習指導 要領の 内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	6	72.7	69.9	68.3
		(2) 情報の扱い方に関する事項	0			
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力, 判断力, 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	76.5	81.8	77.8
		B 書くこと	2	61.4	62.7	60.7
		C 読むこと	3	46.3	53.5	47.2
評価の観点	知識・技能	6	72.7	69.9	68.3	
	思考・判断・表現	8	61.4	66.4	62.1	
	主体的に学習に取り組む態度	0				

### 〈国語現状把握〉

国語全体では、全国平均よりもやや上回ったが、東京都平均よりやや下回った。内容別では、『知識及び技能』が全国も東京都の平均よりも上回った。一方で、『思考力、判断力、表現力等』は、どの内容も東京都の平均より下回った。中でも、「話すこと・聞くこと」と、「読むこと」に大きな課題があることが分かった。観点別では、「知識・技能」が全国・東京都の平均より上回ったが、「思考・判断・表現」全国・東京都の平均より下回った。

## 算数

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			篠崎第四小	東京都(公立)	全国(公立)	
全体			16	72	74	70.2
学習指導要領の領域	C 変化と関係	3	76.8	79.8	75.9	
	D データの活用	5	77.3	79.5	76.0	
評価の観点	知識・技能	9	74.9	78.0	74.1	
	思考・判断・表現	7	68.4	68.3	65.1	
	主体的に学習に取り組む態度	0				

### 〈算数現状把握〉

算数全体では、全国平均よりもやや上回ったが、東京都平均よりやや下回った。領域別では、5つの領域とも全国平均を上回ったが、東京都の平均と比べると「図形」「変化と関係」「データの活用」が下回った。中でも、「図形」に大きな課題があることが分かった。観点別では、「知識・技能」が全国・東京都の平均より下回ったが、「思考・判断・表現」は全国・東京都の平均より上

### 〈授業改善のポイント〉

- ・国語の「話すこと・聞くこと」の課題に対して、授業内で自分の考えが伝わるように資料を活用したり、資料を用いる際の表現を工夫したりする活動を取り入れる。目的や意図に応じて、聞き手に提示する資料のどの部分に着目してほしいのか、またどのような説明を加えると話の内容を分かりやすく伝えられるかについて、多く検討する時間を確保していく。
- ・国語の「読むこと」の課題に対して、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する力を高めていく。校内研究と連携をして、文章全体の構成を捉える活動を全校で系統的に指導していく。
- ・算数の「図形」の課題に対して、図形領域の学習の際に導入として、既習事項の面積や体積の公式等の復習を取り入れていく。また、毎週金曜日に実施しているベーシックタイムでも、図形の問題を解くことで、図形に対する理解度を高めていく。
- ・算数に関しては、少人数指導を充実させ、課題となる単元では重点的に時数を配分して指導するなど、中・下位層の底上げを図っていく。